令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立中央南生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　中央地域課			
施設住所	尼崎市西御園町93-2	竣工	S58.3（築満41年）			
設置目的	教育基本法（平成18年法律第120号）第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供					
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること②使用料の徴収、減免及び還付③施設及び供用備品の維持管理④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕⑤利用状況等統計、その他）					
指定管理者名	公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

安心して快適に利用できる施設管理とサービスを提供し、より多くの市民に利用される施設を目指す。

実施結果

昨年度より若干利用率が低下しているが目標値は達成している。自主事業※の参加者数については増加しており、参加してみたい魅力的な事業が実施できている。

※R5年度にあっては、サンシビックまつりを4年ぶりに実施したことが大幅増の要因

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：施設利用率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	25.0%	25.1%	28.4%	28.5%	28.6%
実績	－	33.9%	33.2%	30.6%	23.0%	24.9%	28.4%	28.3%			
達成度	－	－	－	－	－	－	114%	113%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

指標②：自主事業参加人数（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	480	2,572	2,622	2,672	2,722
実績	－	824	1,004	4,437	106	898	981	4,113			
達成度	－	－	－	－	－	－	204%	160%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	◎			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者がより快適に施設を利用できるよう、計画的な修繕を実施する。

実施結果及び評価

大広間の汚れた畳の入れ替えや、大ホール吊物ワイヤ取替など、利用者がより快適に、かつ安全に利用できるような修繕を実施した。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

用紙の両面コピー・裏紙利用の徹底やペーパーレス化の推進等、エコオフィスづくり指針に準拠した取組を積極的に行う。

実施結果及び評価

裏紙利用や間引き照明に取り組むなど、エコオフィスづくり指針の取組内容の約85%を実施し、効率的な運営と環境への配慮を両立している。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	30,036,896	30,170,846	133,950	人件費	17,425,000	17,888,079	-463,079
				事務費	645,000	124,618	520,382
				施設維持管理運営費	10,127,896	10,735,116	-607,220
				その他	1,839,000	2,265,918	-426,918
収入計	30,036,896	30,170,846	133,950	支出計	30,036,896	31,013,731	-976,835

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	中央南生涯学習プラザは、屋内プールと中央体育館との複合施設になっており、同じ指定管理者が施設の一体的管理を行うことにより、効果的な質の高いサービスの提供等ができる。
指定管理者自身が設定した目標	複合施設の一体管理を行うことで、総合案内・管理運営を行い、より安全・安心な環境の提供と、施設の利用促進のPRを図る。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	多くの市民が集い、互いに多種多様な学びを通して、自己の充実や心豊かな生活が送られるよう、生涯にわたり楽しく活動ができる中心的な施設

目標指標

指標	利用者アンケートにおける利用満足度「とても満足・満足」の割合（%）					
指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
目標値	90.0	90.1	90.2	90.3	90.4	利用者の満足度が高く、目標を上回っている
実績値	94.4	96.6				

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

簡易な要件の連絡はEメールや電話で対応する場合もあるが、基本的には対面での協議相談・意見交換を行っている。令和5年度は、地域課主催講座の開催場所を積極的に中央南生涯学習プラザに設定したこともあり、中央地域課全体として指定管理者と顔を合わせる機会が更に増え、これまで以上に良好な関係を築くことができた。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

新型コロナ感染症対策等により令和元年度以来実施していなかった「サンシビックまつり」を4年ぶりに共催事業として開催し、施設の特長を生かした体験講座や登録グループの発表のほか、地域住民が活躍できるブースを設置するなど、地域とも一体となった催しとなり、多数の参加者で賑わい、事故もなく終えることができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

長寿命化改修工事以外の既設設備等の故障が発生しているため、今後も設備等の故障が大いに考えられる。設備等の安定が利用者の安心安全につながるため、引き続き修繕費の増額について協議を行う必要がある。また、光熱水費については今後の社会情勢による高騰もあり得るため、予算以上の支出額については協議をお願いしたい。地域住民とのコミュニケーションを図ることで、施設の一部（花壇）を共同管理することなど自治のまちづくりを目指す。自主事業については、主体的な計画を継続していき、一部は所管課と調整を行い共催事業として実施し双方の強みを出していく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

利用者満足度「とても満足・満足」の割合は、昨年度よりも更に上昇して96.6%となり、利用者から非常に高い評価を受けているため、今後も引き続き質の高いサービスの維持を期待したい。令和6年度からは、図書室の機能強化や施設を生かした講座等、利用者の学びや活動が広がる取組を始めることから、創意工夫により利用促進に努めるとともにプラザグループなどの貸室利用者や図書室利用者の学びと活動を更に広めてほしい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

質の高いサービスを維持しながら、更なる利用者数の増加を目指し、より魅力的な自主事業や市との共催事業を企画・開催していく。また、予算の範囲内で優先順位をつけて計画的に修繕を行い、利用者満足度の向上を図る。なお、管理運営状況については、本部と現場の連携に加え指定管理者と地域課間においても、定期的な確認を行うためにチェック体制の強化を行う。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立中央北生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　中央地域課
施設住所	尼崎市東難波町2-14-1	竣工	H31.2（築満5年）
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供		
主な事業内容	施設管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること②使用料の徴収、減免及び還付③施設及び供用備品の維持管理④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕⑤利用状況等統計、その他)		
指定管理者名	尼崎市生涯学習プラザ運営事業体	指定期間	自　H31.4.1　至　R6.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

安全で安心して利用できる施設管理と市民サービスの向上を図り、施設利用者の増につなげる。

実施結果

施設の始業・終業時の点検や定期的な巡回点検を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理が適正に行われている。また、窓口対応においては、利用者へのあいさつやマナー研修の実施など市民サービスの向上にも取り組み、施設利用率が目標値を上回ったほか、施設利用人数も高い目標値であるが達成できた。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指 標 ①： 施設利用率（%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	45%	50%			
実績	－	－	－	42.14%	38.04%	42.24%	52.88%	52.53%			
達成度	－	－	－	－	－	－	118%	105%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	○			

指 標 ②： 施設利用人数（人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	90,000人	120,500人			
実績	－	－	－	94,389人	48,767人	80,883人	115,273人	120,962人			
達成度	－	－	－	－	－	－	128%	100%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

効率的な人員配置かつスタッフ個々のレベルアップによって、人件費を軽減させる。

実施結果及び評価

適切な人員配置が行われているものと考えられる。施設管理・窓口対応など施設利用者へのサービスを低下させることなく維持している。一方で人件費においては、令和5年10月1日最低賃金の改正の影響により、令和4年度決算額から軽減させることが出来なかった。

△

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、環境負荷の少ない商品を可能な限り購入（グリーン購入）する。また、空調の適正温度設定の徹底や不必要な電灯の消灯に努め、昨年度実績より電気使用量の削減を目指す。

実施結果及び評価

施設管理に伴う環境への負荷を低減するための尼崎市「エコオフィスづくり指針」の各種取組項目の実施状況について確認したところ、不要な電灯の消灯など半数以上の項目で実施されており、環境への配慮と効率的な施設管理が両立できた。また、電気使用量を昨年度比5.9%削減した。
（R4:124,347kwh R5:117,037kwh）

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	37,630,860	37,838,760	207,900	人件費	15,290,000	14,506,859	783,141
				施設維持管理運営費	14,162,384	12,841,296	1,321,088
				事務費	1,108,700	691,900	416,800
				その他	7,069,776	6,587,881	481,895
収入計	37,630,860	37,838,760	207,900	支出計	37,630,860	34,627,936	3,002,924

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	プラザ利用率50%を目標とする。　利用者アンケートでの利用者の満足度を上げる。予約に関してWEB予約の割合を増加させる。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	多くの市民が集い、互いに多種多様な学びを通して、自己の充実や心豊かな生活が送られるよう、生涯にわたり楽しく活動ができる中心的な施設

目標指標

指標	利用者アンケートにおける利用満足度「非常に良い・良い」の割合（%）					
指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
目標値	－	－	－	90.00%	91.00%	利用満足度が目標値を大幅に上回った。
実績値	－	－	－	94.93%	97.07%	

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	要改善

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	要改善
指定管理者自身の経営状況は健全か	懸念あり

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月例報告時に意見交換を実施のほか、随時、情報共有・相談・連絡等を行っており関係性を構築した。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

図書コーナーの魅力創出に向けて、定期的に特集コーナー（防災・秋の味覚・ねこ等）の設置回数を昨年より増加させるなど更なる魅力向上に向けた取組を行った。また、全館を使用した来館者数が多いイベントを開催した際にも適正に施設管理が出来た。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

当プラザは災害時の避難施設であることから、中央地域課との連携をより密にし、万が一の災害発生時には迅速に行動できる体制を構築する。また、施設利用者が安全で快適に利用できるよう適正な施設管理を行うとともに、市民が集い交流する施設を目指し、中央地域課も更に連携してもらいたい。尚、より良い施設の維持管理には、従業員とのコミュニケーションも今まで以上に必要になると考えており、責任者以外のスタッフも含め、定期的に話し合えるよう、体制を整えていく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

利用者アンケートにおける「非常に良い・良い」の割合が、97.07%と非常に高い。なかでも「施設内清掃状態」については、利用者アンケートで99%以上から「非常に良い」と高い評価を得ており、施設利用人数も目標値を達成できた。一方で、運営事業体内での管理運営状況の把握が十分でなかったことにより、再委託業者等に対する支払遅延が一時的に発生したが、市が行った改善指示に対して速やかに対応がなされた。今後も高水準での市民サービスの維持・向上を目指すとともに新規利用者の確保に努め、適正な管理運営体制の構築を強く意識した業務の実施を求めていく。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

高水準での市民サービスの維持・向上や施設ホームページの活用など広報をより充実させ、新規利用者の確保に努め、「施設のありたい姿」の実現に向けて連携していく。また、施設予約におけるWEB予約の積極的な利用促進を行う。災害時対応においては、施設利用者の安全確保を第一に行動できるよう、定期的な訓練をはじめ役割分担など体制の構築を徹底していく。また、管理運営状況については、本社と現場の連携に加え指定管理者と地域課間においても、定期的な確認を行うためにチェック体制の強化を行う。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立小田南生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　小田地域課		
施設住所	尼崎市長洲中通1-6-10	竣工	R2.4（築満3年）		
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供				
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）				
指定管理者名	尼崎市生涯学習プラザ運営事業体	指定期間	自	H31.4.1	至　R6.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

自主事業による利用者の拡大と来館者及び登録グループの更なる関係性の構築

実施結果

地域の学びの発展に寄与するための取組として、小田南プラザまつりを開催した。登録グループと連携し、実行委員会での企画や当日の運営を行うことでより関係性を深めた。また、自主事業を毎月実施するなど積極的な取組により、利用者満足度も目標を達成している。（指標①）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：アンケート評価による利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	80%	80%			
実績	－	－	－	－	79%	79%	75%	90%			
達成度	－	－	－	－	－	－	94%	112%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	◎			

指標②：施設の来館者数（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	70,000	80,000			
実績	－	－	－	－	29,797	69,461	76,801	92,418			
達成度	－	－	－	－	－	－	110%	116%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	◎			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

市民の意見を反映した事業の取組を行う。

実施結果及び評価

1階コミュニティスペースに設置していた青少年向けの学習スペースを、従来利用が少なかった3階のグループ交流室に移動し、1階の空いたスペースには年齢制限なく誰でも利用できるテーブルを設置した。これらの整備により、パソコン作業や読書等、貸室の利用以外での来館者が増えたほか、貸室利用者の滞在時間も増えた。

◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

こまめな節電やコピー用紙の裏面再利用等の環境に配慮した取組とポスター掲示等による啓発を行う。

実施結果及び評価

コピー用紙の裏面利用の徹底と、不要な照明の消灯やエアコンの温度設定に注意を促すなど、環境に配慮した運営を行っている。

○

◎富水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	25,721,000	26,003,722	282,722	人件費	10,250,000	10,631,892	−381,892
				施設維持管理運営費	9,239,697	8,920,999	318,698
				その他	6,231,303	5,269,462	961,841
収入計	25,721,000	26,003,722	282,722	支出計	25,721,000	24,822,353	898,647

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	市民にとって必要とされる地域資源として「地域コミュニティ形成の場」「生涯学習」の役割を果たせる施設を目指す。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域資源として「地域コミュニティ形成の場」「生涯学習」の役割を果たせる施設						
目標指標	指標	施設の利用者数（単位：人）					
	指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
	目標値	－	－	－	70,000	80,000	目標を大きく上回った。
	実績値	－	29,797	69,461	76,801	92,418	

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	要改善
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	要改善
指定管理者自身の経営状況は健全か	懸念あり
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

館を運営する上で疑義事項などが生じた際には随時、報告・連絡・相談を行い、施設に急な修繕等が発生した場合も互いに迅速に対応することで、良い信頼関係が構築できている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

英語教室や料理教室等の自主事業を定期的に行っているほか、地域課との共催事業も多く、地域住民に気軽に生涯学習プラザに足を運んでもらえる雰囲気作りを行っている。窓口対応では利用者と良好なコミュニケーションがとれており、来館者アンケートでも「非常に良い」「良い」と答えた割合がほぼ100%に達した。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

曜日・時間帯別利用率では、月曜日・火曜日の午前及び、全曜日の夜間が利用率平均を下回っている。この利用率向上を目指す施策として、若い世代の利用促進を目的とした事業の実施も必要と考えている。利用者の意見も参考にし、地域課と共に新たな出会い・学びの創出を行う。より良い施設の維持管理には、従業員とのコミュニケーションも今まで以上に必要になると考えており、責任者以外のスタッフも含め、定期的に話し合えるよう、体制を整えていく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

運営事業体内での管理運営状況の把握が十分でなかったことにより、再委託業者等に対する支払遅延が一時的に発生したが、市が行った改善指示に対して速やかに対応がなされた。また、インボイス制度の導入や公共施設予約システムの改修等、事務手続きに変更があった際は円滑に業務を行っており、利用者満足度は高く、概ね指定管理業務を良好に遂行している。施設目標の達成に向けて各事業を協働で実施できているため、今後も関係性を強化しながら市民サービスの向上を図るとともに、新規利用者の確保や地域住民の参画・連携、また、適切な管理運営体制の構築を意識して業務に当たってもらいたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

夜間の利用率向上が課題であるため、駅の近くに位置しており利便性が高い点や、音楽室の機材が充実している点等、施設の特色を地域住民や近隣企業に積極的にアピールすることで、新規利用者の確保を行っていく。自主事業については、既存事業の継続に加え、地域住民の意見を取り入れた新規事業の企画を積極的に行うことで、来館者数の増加及び施設の魅力向上を図り、「まちづくりの拠点」としてより市民に親しまれる施設を目指す。管理体制については、本社と現場の連携に加え指定管理者と地域課間においても、定期的な確認を行うためにチェック体制の強化を行う。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立小田北生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　小田地域課
施設住所	尼崎市潮江1-11-1	竣工	H10.3月（築満26年）
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供		
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）		
指定管理者名	尼崎市生涯学習プラザ運営事業体	指定期間	自　H31.4.1　至　R6.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

自主事業による利用者の拡大と来館者及び登録グループの更なる関係性の構築

実施結果

市民企画委員会や小田北生涯学習プラザふれあいまつりを地域課・指定管理者・市民企画委員と協力して企画・運営することで、参加した登録グループや来場者とのつながりを拡大した。また今年度から自主事業についても積極的に開催しており、登録グループを講師として招くなどの工夫により、登録グループの活性化及び利用者の拡大に取り組んでいる。（指標②）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：アンケート評価による利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	80%	80%			
実績	－	－	－	45%	57%	61%	53%	61%			
達成度	－	－	－	－	－	－	66%	76%			
評価	－	－	－	－	－	－	△	△			

指標②：施設の来館者数（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	67,000	67,000			
実績	－	－	－	45,460	28,711	66,190	42,177	47,894			
達成度	－	－	－	－	－	－	63%	71%			
評価	－	－	－	－	－	－	△	△			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

職員研修を実施し、市民サービスの向上を図る。

実施結果及び評価

昨年度までは窓口対応などで利用者からのクレームも受けたが、接遇研修の実施やスタッフ間の情報共有の徹底など職員の意識改革の効果が表れ、職員の対応についての利用者アンケートの結果は「普通」、「良い」、「非常に良い」の割合がほぼ100%に達した。　○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

こまめな節電やコピー用紙の裏面再利用等の環境に配慮した取組とポスター掲示等による啓発を行う。

実施結果及び評価

コピー用紙の裏面利用の徹底と、不要な照明の消灯やエアコンの温度設定に注意を促すなど、環境に配慮した運営を行っている。　○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	23,516,000	24,071,050	555,050	人件費	10,250,000	11,703,683	-1,453,683
				施設維持管理運営費	7,712,728	7,835,203	-122,475
				その他	5,553,272	4,734,566	818,706
収入計	23,516,000	24,071,050	555,050	支出計	23,516,000	24,273,452	-757,452

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	市民にとって必要とされる地域資源として「地域コミュニティ形成の場」「生涯学習」の役割を果たせる施設を目指す。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域資源として「地域コミュニティ形成の場」「生涯学習」の役割を果たせる施設						
目標指標	指標	施設の利用者数（単位：人）					
	指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
	目標値	－	－	－	67,000	67,000	積極的に取組を展開したものの、目標達成には至らなかった。
	実績値	－	28,711	66,190	42,177	47,894	

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	要改善

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	要改善
指定管理者自身の経営状況は健全か	懸念あり

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	要改善
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

館を運営する上で疑義事項などが生じた際には随時、報告・連絡・相談を行い、施設に急な修繕等が発生した場合も互いに迅速に対応することで、良い信頼関係が構築できている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

小田公民館の時から続く市民企画委員会に一昨年度から指定管理者も参加することで、登録グループや関連する団体とも関係が深まっており、日ごろの窓口業務でも利用者とのコミュニケーションを積極的に取り、施設の良好な雰囲気作りを行っている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

利用率の低い夜間等の時間を有効活用し、新たな図書業務への対応、新たな出会い・学びを創出できるような空間づくりを利用者・地域課と共に検討していく。より良い施設の維持管理には、従業員とのコミュニケーションも今まで以上に必要になると考えており、責任者以外のスタッフも含め、定期的に話し合えるよう、体制を整えていく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

運営事業体内での管理運営状況の把握が十分でなかったことにより、再委託業者等に対する支払遅延が一時的に発生したが、市が行った改善指示に対して速やかに対応がなされた。またインボイス制度の導入や公共施設予約システムの改修等、事務手続きに変更があった際は円滑に業務を行っており、昨年度実施したホールの照明設備工事に伴う操作方法の変更についても、マニュアル作成や説明会の開催等、利用者に寄り添った適切な施設運営を行う姿勢が見られた。他のプラザと比べて図書業務の比重が大きい中、今後も新規利用者の確保や地域住民の参画・連携、適切な管理運営体制の構築を意識して業務を進めてもらいたい。なお、消防による立入検査で小田北生涯学習プラザが入居するアミング潮江サウス全体として、防災管理者及び自衛消防組織の未設置という指摘を受けているため、コロナ禍から開催されていない消防訓練の実施も含め、アミング潮江サウス管理組合と連携の上、是正にあたる必要がある。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

スタッフ間の意識改革の結果、クレームの減少など安定した施設管理につながっている。今後は次のステップとして利用者からの当施設に対する想いや活用方法についての要望なども柔軟にくみ取り、コミュニケーションを深めながら、市民皆が考えるより良い施設像に向けて、市民企画委員会や登録グループなどと協働の上、検討を進めていきたい。また管理体制については、本社と現場の連携に加え指定管理者と地域課間においても、定期的な確認を行うためにチェック体制の強化を行う。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立大庄南生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　大庄地域課				
施設住所	尼崎市大庄西町3丁目6-14	竣工	S12(築85年)				
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供						
主な事業内容	施設管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)						
指定管理者名	尼崎市生涯学習プラザ運営事業体	指定期間	自	H31.4.1	至	R6.3.31	

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

歴史的価値の認知度向上及び、積極的な自主事業の実施により学びと活動の循環を目指す。

実施結果

利用者満足度は目標を大きく上回っているが、地域活動とつながっていると感じている割合が低く、学びと活動の循環につながっているとは言えない。自主事業の新たな企画により目標を意識した取組が必要。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：自主事業を含むプラザ利用等に係る利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	67%	78%			
実績	－	－	－	－	－	－	77%	82%			
達成度	－	－	－	－	－	－	115%	105%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	◎			

指標②：プラザでの活動が地域活動とつながっていると感じている割合（%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	70%	70%			
実績	－	－	－	－	－	－	48%	47%			
達成度	－	－	－	－	－	－	69%	67%			
評価	－	－	－	－	－	－	△	×			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

ロビーの空間づくりや自主事業の実施等、地域のニーズにマッチした魅力あるサービスを展開し、利用者層を広げる。

実施結果及び評価

人気のある肝試しイベントや、ロビーに様々な展示を行う等の取組は継続して行っており、利用者満足度につながっている。しかしながら、年代別の利用者数は10～20代の割合が昨年度よりも減少しているとともに来館者数も減少していることから、自主事業の計画的な実施等、利用者層を広げる取組が必要である。

×

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を検討する。また、用紙の裏面利用や、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

用紙の裏面利用や、不要な電気の消灯を徹底している。また、修繕の見積が高額である場合は別の方法を検討する等、経費削減のみならず、施設管理の観点からも最善の方法を模索した。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	22,202,000	22,188,360	-13,640	人件費	9,500,000	8,646,688	853,312
				管理運営費	6,755,945	6,328,116	427,829
				事務費	650,000	653,903	-3,903
				一般管理費	2,180,000	2,017,123	162,877
				消費税	1,668,445	1,764,583	-96,138
収入計	22,202,000	22,188,360	-13,640	支出計	20,754,390	19,410,413	1,343,977

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	施設設置目的の達成に取り組み、市民にとって必要とされる地域資源として「地域コミュニティ形成の場」「生涯学習」の役割を果たせる施設を目指す。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	市の施設として親しみを感じる、誰もが気軽に来館し集える場にする。						
目標指標	指標	来館者数(単位:人)					
	指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
	目標値	20,000	17,000	－	10,000	36,491	前年と比較すると1,045人減少しており、目標未達であった。
	実績値	19,580	8,890	－	25,144	24,099	

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	要改善
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	要改善
指定管理者自身の経営状況は健全か	懸念あり
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

互いの事業への協力や、日頃から報告・連絡・相談を密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

自主事業について、保険会社等が大庄地域課に出前講座の営業に来た際に、指定管理者へ情報提供することで新たな企画につなげ、指定管理者も地域課に積極的に事業等の相談をするなど、日頃から密に連携した。ロビーの将棋セットなどは、指定管理者が利用者から寄付を募り、自主事業で必要になる物品については地域課が他部署から物品を借りられるように手配するなど、双方が強みを出し合うことで、より効果的な運営につながっている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

居心地の良い空間づくりにより、小中学生を中心にロビーや図書コーナーの利用が増加傾向にある。また、幼児を抱える子育て世代の絵本などの図書貸出しが着実に増えている。一方で、貸室の利用率が令和3年度耐震化工事前の水準まで回復していないため、これを何としても改善すべく新規利用者や継続的利用者を増やすための自主事業を提案し、地域課と協議しながら実施していく。さらに、来館者数増加を図るため、登録有形文化財であり歴史を感じさせる建物を売りとした施設見学会の実施など積極的な取組を行っていく。また、より良い施設の維持管理には、従業員とのコミュニケーションも今まで以上に必要になると考えており、責任者以外のスタッフも含め、定期的に話し合えるよう、体制を整えていく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

漏水等の突発的なトラブルにも適切に対応されている。また自主事業をきっかけにし、新たな登録グループの参加につながる等、利用率は目標未達成ながらも、新規利用者を増加させるための取組は一定行われている。今後もより関係性を強化しながら、利用率向上及び地域住民の参画を強く意識して業務に当たってほしい。また運営事業体内での管理運営状況の把握が十分でなかったことにより、再委託業者等に対する支払遅延が一時的に発生したが、市が行った改善指示に対して速やかに対応がなされた。今後は適正な管理運営体制の構築を強く意識して業務に当たってもらいたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

住民ニーズや時季に合わせた自主事業等を展開することで、様々な世代に対し「学び」を提供していく。こうした取組の結果、地域住民が「学び」を通じて住民同士の交流が図れ、気軽に集える施設にしていくことで、来館者数の増加を図っていく。管理運営状況については、本社と現場の連携に加え指定管理者と地域課間においても、定期的な確認を行うためにチェック体制の強化を行う。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立大庄北生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　大庄地域課				
施設住所	尼崎市大島3丁目9-25	竣工	H31.4（築5年）				
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供						
主な事業内容	施設管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件10万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)						
指定管理者名	尼崎市生涯学習プラザ運営事業体	指定期間	自	H31.4.1	至	R6.3.31	

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

自主事業の実施に当たっては、市民の参画を意識しながら、より効果的に実施し、市の施設として親しみを感じる場にする。

実施結果

地域団体の協力も得て時季に合わせた多様な自主事業を実施したことで、新規利用者の獲得につながり、親しみを感じる施設を目指す中で一定成果が出たと言える。一方で、地域とつながっていると感じている割合は目標を下回っているため、施設の設置目的を意識した取組が必要。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：自主事業を含むプラザ利用等に係る利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	86%	89%			
実績	－	－	－	－	－	－	88%	96%			
達成度	－	－	－	－	－	－	103%	108%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	◎			

指標②：プラザでの活動が地域活動とつながっていると感じている割合（%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	70%	70%			
実績	－	－	－	－	－	－	60%	53%			
達成度	－	－	－	－	－	－	86%	75%			
評価	－	－	－	－	－	－	△	×			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

ロビーの空間づくりや自主事業の実施等、地域のニーズにマッチした魅力あるサービスを展開し、利用者層を広げる。

実施結果及び評価

若年層に人気の高いゲーム大会や子ども食堂等の事業を多数実施しており、事業をきっかけに初めてプラザに来た方もいる。年代別の利用者数も10～20代の割合が昨年度よりも上昇しており、利用者層の拡大につながっている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を検討する。また、用紙の裏面利用や、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

用紙の裏面利用や、不要な電気の消灯を徹底している。また、修繕の見積が高額である場合は別の方法を検討する等、経費削減のみならず、施設管理の観点からも最善の方法を模索した。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	26,149,000	26,140,882	-8,118	人件費	10,000,000	9,394,980	605,020
				管理運営費	8,445,740	8,279,594	166,146
				事務費	473,000	451,926	21,074
				一般管理費	2,177,454	2,376,443	101,011
				公租公課費	2,139,619	2,050,294	89,325
収入計	26,149,000	26,140,882	-8,118	支出計	23,535,813	22,553,237	982,576

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	施設設置目的の達成に取り組み、市民にとって必要とされる地域資源として「地域コミュニティ形成の場」「生涯学習」の役割を果たせる施設を目指す。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	市の施設として親しみを感じる、誰もが気軽に来館し集える場にする。						
目標指標	指標	来館者数（単位：人）					
	指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
	目標値	44,200	31,000	28,500	45,000	46,047	昨年より98人増加したものの、目標未達であった。
	実績値	34,460	19,110	49,190	42,610	42,708	

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	要改善
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	要改善
指定管理者自身の経営状況は健全か	懸念あり
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

互いの事業への協力や、日頃から報告・連絡・相談を密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

自主事業について、保険会社等が大庄地域課に出前講座の営業に来た際に指定管理者へ情報提供することで、新たな企画を行ったり、指定管理者も地域課に積極的に事業等の相談をするなど、日頃から密にやり取りを行った。ロビーの将棋セットなどは、指定管理者が利用者から寄付を募り、自主事業で必要になる物品については地域課が他部署から物品を借りられるように手配するなど、双方が強みを出し合うことで、より効果的な運営につながっている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

施設の不備、不具合等を報告し速やかに修理、修繕できるよう地域課との連携を図り、利用者に安全かつ気持ちよく利用してもらえるよう努める。子ども食堂やゲーム大会など引き続き実施するとともに、子ども達が気軽に遊びに来られるようロビーの飾り付け等を工夫していきたい。また、より良い施設の維持管理には、従業員とのコミュニケーションも今まで以上に必要になると考えており、責任者以外のスタッフも含め、定期的に話し合えるよう、体制を整えていく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

事業については若年層にニーズの高いゲーム大会や子ども食堂等を継続して行うとともに、「大庄生涯学習プラザまつり」の共催運営や「Enjoy！OH！SHOW！タコフェス」の協力等、登録グループや地域住民との関係性を活かしながら市と連携し、業務遂行していた。また運営事業体内での管理運営状況の把握が十分でなかったことにより、再委託業者等に対する支払遅延が一時的に発生したが、市が行った改善指示に対して速やかに対応がなされた。今後は適正な管理運営体制の構築を強く意識して業務に当たってもらいたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

住民ニーズや時季に合わせた自主事業等を展開することで、様々な世代に対し「学び」を提供していく。こうした取組の結果、地域住民が「学び」を通じて住民同士の交流が図れ、気軽に集える施設にしていくことで、来館者数の増加を図っていく。管理運営状況については、本社と現場の連携に加え指定管理者と地域課間においても、定期的な確認を行うためにチェック体制の強化を行う。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立立花南生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　立花地域課
施設住所	尼崎市栗山町2丁目25-28	竣工	R4.1（築満2年）
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供。		
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）		
指定管理者名	株式会社　ハウスビルシステム	指定期間	自　H31.4.1　至　R6.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

当該施設を利用者が安心して利用できる環境を整え、利用者数を増やす。

実施結果

利用者のグループ化・自主事業の実施及びフリースペース(季節に合わせた飾りつけ)の整備等、利用者数を増やす事業展開を行っている。

有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：接遇（スタッフの対応が良い）（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	70%	70%			
実績	－	－	－	54%	－	66%	68%	99%			
達成度	－	－	－	－	－	－	97%	142%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	◎			

指標②：年間利用者数（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	35,000	35,000			
実績	－	－	－	30,501	12,982	24,406	41,123	53,304			
達成度	－	－	－	－	－	－	117%	152%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	◎			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

当該施設を利用者が安心して利用できる環境を整え、利用者数を増やす。

実施結果及び評価

突発的な修繕に対応するほか、施設修繕には見積合わせを欠かさず行うことで費用の削減を行い、市民サービス向上を図っている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を検討する。また、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

積極的にグリーン購入を行うとともに、用紙裏面の再利用を徹底している。また、換気タイム(フリースペースの窓の開閉)、貸室の設定温度の調整、利用者がいない日・時間帯の電気の消灯、牛乳パックのリサイクル、紙資源の再利用を行っている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	26,155,000	26,100,922	-54,078	人件費	10,350,000	10,201,865	148,135
			0	事業費			0
			0	施設維持管理運営費	12,249,773	12,799,155	-549,382
				その他	3,555,227	3,618,110	-62,883
収入計	26,155,000	26,100,922	-54,078	支出計	26,155,000	26,619,130	-464,130

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	利用者の高い満足度が得られる管理運営を行う。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	生涯学習の拠点として地域住民に知られ利用される施設。						
目標指標	指標	夜間の利用率（単位：%）					
	指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
	目標値	－	－	－	8.0%	10.0%	目標値は達成されている。引き続き利用率向上に向けて取り組む。
	実績値	－	17.0%	9.0%	9.0%	13.0%	

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まっている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

自主事業は、昨年度件数よりはるかに多く、若い利用者を増やすべく、子育て世代が参加しやすい企画を立案している。また、プラザまつりへの参画・企画等、地域課・施設利用者とのパートナーシップを日々構築している。自主事業にあっては、職員のスキルを活かし取り組んでいる(例:児童館出身スタッフによる子供向け事業企画)。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

多くの自主事業を実施したが、登録グループ化まで発展させることはできなかった。また、道具の使用が必須であるグループでは、新規登録時のプラザ選択において道具保管場所の有無も重要な要素であり、他地区のプラザでの登録を余儀なくされたケースも発生した。これらを課題として認識し、地域課の意向に沿った自主事業を実施し、地域課と共にプラザスペースの有効活用を検討していく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

年度目標は達成できている。利用者満足度も高く、管理業務は良好に遂行されている。施設目標の達成に向けて、自主事業を積極的に実施しグループ化に力を注ぎ、関係性を強化しながら市民サービスの向上に努めている。引き続き新規利用者の確保や、地域住民の参画を意識して業務に当たってほしい。また、本社と現場職員とのコミュニケーション・情報共有が図れる体制づくりを整えてもらいたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

生涯学習の拠点として地域住民に利用される施設として、夜間や利用者が少ない曜日の利用状況を分析・把握し、対象となる世代にアプローチすることで、施設利用率の底上げを行う。このことによって全体の利用率を上げる取組につなげる。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立立花北生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　立花地域課
施設住所	尼崎市塚口町3丁目39-7	竣工	S47.4（築満51年）
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供。		
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）		
指定管理者名	株式会社　ハウスビルシステム	指定期間	自　H31.4.1　至　R6.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
当該施設を利用者が安心して利用できる環境を整え、利用者数を増やす。

実施結果
利用者のグループ化・自主事業の実施及び自習室、図書コーナーの整備等、利用者数を増やす事業展開を行っている。

有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：接遇（スタッフの対応が良い）（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	80%	80%			
実績	－	－	－	61%	70%	84%	69%	99%			
達成度	－	－	－	－	－	－	86%	123%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	◎			

指標②：年間利用者数（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	33,000	33,000			
実績	－	－	－	30,135	19,877	26,915	29,390	30,494			
達成度	－	－	－	－	－	－	89%	92%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
当該施設を利用者が安心して利用できる環境を整え、利用者数を増やす。

実施結果及び評価
施設の老朽化が進む中、施設修繕には①市民サービスを優先し②費用の削減に見積合せを欠かさず行い、市民サービス向上を図っている。　○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
物品を購入する際には、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を検討する。また、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価
積極的にグリーン購入を行うとともに、用紙裏面の再利用を徹底している。また、換気タイム(1日3回チャイム利用)を設けるとともに、ごみ分別(紙資源リサイクル)、不要な電気の消灯等に努めている。　○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	22,419,000	22,467,560	48,560	人件費	10,300,000	10,253,128	46,872
				事業費			0
				施設維持管理運営費	8,992,909	8,980,871	12,038
				その他	3,126,091	2,871,314	254,777
収入計	22,419,000	22,467,560	48,560	支出計	22,419,000	22,105,313	313,687

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	利用者の高い満足度が得られる管理運営を行う

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	生涯学習の拠点として地域住民に知られ利用される施設。						
目標指標	指標	夜間の利用率（単位：%）					
	指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
	目標値	－	－	－	15.0%	16.0%	目標値は達成されている。引き続き利用率向上に向けて取り組む。
	実績値	19.0%	29.0%	16.0%	21.0%	22.0%	

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まっている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

プラザまつりへの参画・企画等、地域課と指定管理者のパートナーシップを日々構築し、地域課が実施していた「フレイル予防教室」を自主事業として実施し、参加者から大変高い評価を得ている。また、読書環境の充実を図るため職員のスキル(図書資格)を活かし、利用者へのサービス提供に努めている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

来年度から登録グループ化される教室もあり、高齢者向けの自主事業等が減少傾向にある。スマホの使い方，脳トレ麻雀，新たな体操系講座といった高齢者向けの事業を実施し、地域の活性化につなげたい。施設の老朽化に伴い突発的な修繕も懸念されるが、地域課と知恵を出し合い、指定事業・自主事業ともに全うしたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

利用者数目標は達成できなかったが、利用者満足度は高く、管理業務は良好に遂行されている。施設目標の達成に向けて、自主事業を積極的に実施し、グループ化に力を注ぎ、関係性を強化しながら市民サービスの向上に努めている。施設が老朽化している中ではあるが、引き続き新規利用者の確保や、地域住民の参画を意識して業務に当たってほしい。また、本社と現場職員とのコミュニケーション・情報共有が図れる体制づくりを整えてほしい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

生涯学習の拠点として地域住民に利用される施設として、夜間や利用者が少ない曜日の利用状況を分析・把握し、対象となる世代にアプローチすることで、施設利用率の底上げを行う。このことによって全体の利用率を上げる取組につなげる。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立武庫東生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　武庫地域課
施設住所	尼崎市武庫之荘8丁目1-1	竣工	H5.3(築満31年)
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供		
主な事業内容	施設管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)		
指定管理者名	三菱電機ライフサービス株式会社	指定期間	自　H31.4.1　至　R6.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他(　　)

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

(1)貸室稼働率について、指定期間終了年度の令和5年度末に40%を目指す。
(2)利用者満足度について、利用者アンケートの「非常に満足」・「満足」の評価が80%を超えるよう運営する。

実施結果

(1)今年度はエアコン設備不良及び水漏れにより貸館を一時的に一部利用停止したにもかかわらず、貸室稼働率は37.7%を維持できている。
(2)利用者満足度は前年度よりもやや低下したが、自主事業として人気のある講座を積極的に開催し、利用者満足度の向上に努めていた。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートの満足度調査（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	80.0%	80.0%			
実績	－	－	－	－	－	－	75.1%	70.7%			
達成度	－	－	－	－	－	－	93.9%	88.4%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

指標②：貸室の稼働率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	35.0%	40.0%			
実績	－	－	－	32.7%	31.1%	34.3%	37.2%	37.7%			
達成度	－	－	－	－	－	－	106.2%	94.2%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者や市からのニーズに対して、柔軟に対応する。

実施結果及び評価

インボイス制度の導入等による運営面の変更に対しては、利用者への丁寧な説明や柔軟な対応により、大きな問題なく運営できており、市民サービスの維持・向上につなげることができた。　○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

エコオフィスづくり指針に基づく取組を積極的に推進する。不要箇所の消灯などによる節電やごみの分別、エアコン設定温度の調整などによる省エネルギーにつながる取組を積極的に推進する。

実施結果及び評価

エコオフィスづくりおよび省エネルギーへの積極的な取組により、貸室利用者が増えている中でも、使用電力量を前年度より1月平均256kwh削減することができた。　◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	21,593,396	23,032,086	1,438,690	人件費	9,167,100	13,727,495	-4,560,395
				施設維持管理運営費	9,808,870	13,080,685	-3,271,815
				その他	2,617,426	2,575,119	42,307
収入計	21,593,396	23,032,086	1,438,690	支出計	21,593,396	29,383,299	-7,789,903

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	地域の拠点施設としての機能を果たすべく、「市民が主役」の視点に立ち、市・市民・地域が一体となるような地域密着の管理運営を実施する。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	施設利用者のニーズを捉え、安定的な施設管理とサービスを提供する。

目標指標							
指標	貸室稼働率(単位:%)						
指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価	
目標値	－	－	－	35.00	40.00	自主事業の積極的実施等、利用率の向上に努めており、安定的な施設管理とサービスが提供されている。	
実績値	32.69	31.08	34.26	37.17	37.66		

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

定例会での意見交換や情報共有等、積極的に連絡が取れている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

生涯学習推進事業について、中央図書館と調整を図り、テーマに掲げたおすすめ本の展示コーナーを設置する等、市とのパートナーシップを踏まえた施設管理業務を実施している。指定事業以外でも、高齢者対象の講座から乳幼児とその保護者を対象にする講座など幅広い自主事業を展開している。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

貸室稼働率の向上を年度目標に掲げ、前年度に引き続いて自主事業や共催事業を開催し、稼働率が増加した。施設維持管理については、空調故障や給水管漏水などの緊急対応が発生したが、市と協力し利用者対応を行うことができた。施設の老朽化による修繕箇所の増加に対して、緊急性や重要性の優先順位付けによる予防保全を効率的に取り組む余地があったと考える。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

(成果)来館者と良好なコミュニケーションを通して関係性を築いていること、また、自主事業として人気のある講座を積極的に開催していることから、利用者の継続利用さらには利用率の向上等につながっている。
(課題)選定時の提案内容である、効果的な予防保全及びスタッフの内作による修繕費の低減化、修繕箇所のリスト化による優先順位をつけた修繕の実施については、施設の経年劣化が進んでいることもあり、効率的な取組みが困難な側面もあったことは考慮すべき点である。
(提案)次年度より指定管理者が交代となるため、新指定管理者への業務の引継ぎを確実に実施して欲しい。その際、未実施の修繕等についても具体的な引継ぎの実施に努めて欲しい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設目標の達成に向けて、SNSを活用した貸室の多様な利用方法の紹介や、各種団体への働きかけ等により、新規利用者の確保及び利用率の向上を期待する。また、利用者満足度調査を継続して実施することにより、利用者ニーズを把握しサービス品質の更なる向上に努めてほしい。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立武庫西生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　武庫地域課
施設住所	尼崎市武庫の里1丁目13-29	竣工	H29.2（築満7年）
設置目的	教育基本法（平成18年法律第120号）第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供		
主な事業内容	施設管理業務（①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品に係る1件50万未満の修繕工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他）		
指定管理者名	三菱電機ライフサービス株式会社	指定期間	自　H31.4.1　至　R6.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

(1)貸室稼働率について、指定期間終了年度の令和5年度末に30%を目指す（令和2年度設定目標）。
(2)利用者満足度について、利用者アンケートの「非常に満足」・「満足」の評価が前年度同様80%を超えるよう運営する。

実施結果

(1)貸室稼働率は33.2%で指定期間終了年度の目標を上回った。
(2)利用者満足度は目標を下回り、前年度に比べて変動も見られるが、自主事業として人気のある講座を積極的に開催し、利用者満足度の向上に努めていた。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートの満足度調査

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	80.0%	80.0%			
実績	－	－	－	－	－	－	80.2%	60.7%			
達成度	－	－	－	－	－	－	100.3%	75.9%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	△			

指標②：貸室の稼働率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	25.0%	30.0%			
実績	－	－	－	24.6%	17.0%	26.7%	31.4%	33.2%			
達成度	－	－	－	－	－	－	125.6%	110.5%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	◎			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者や市からのニーズに対して、柔軟に対応する。

実施結果及び評価

インボイス制度の導入等による運営面の変更に対しては、利用者への丁寧な説明や柔軟な対応により、大きな問題なく運営できており、市民サービスの維持・向上につなげることができた。　○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

エコオフィスづくり指針に基づく取組を積極的に推進する。不要箇所の消灯などによる節電やごみの分別、エアコン設定温度の調整などによる省エネルギーにつながる取組を積極的に推進する。

実施結果及び評価

エコオフィスづくりおよび省エネルギーへの積極的な取組により、貸室利用者が増えている中でも、使用電力量を前年度より1月平均311kwh削減することができた。　◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	24,880,540	25,087,340	206,800	人件費	11,550,000	12,566,336	-1,016,336
				施設維持管理運営費	10,198,673	11,714,744	-1,516,071
				その他	3,131,867	2,926,847	205,020
収入計	24,880,540	25,087,340	206,800	支出計	24,880,540	27,207,927	-2,327,387

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮されるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているか
指定管理者自身が設定した目標	地域の拠点施設としての機能を果たすべく、「市民が主役」の視点に立ち、市・市民・地域が一体となるような地域密着の管理運営を実施する。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	施設利用者のニーズを捉え、安定的な施設管理とサービスを提供する。						
目標指標	指標	貸室稼働率（単位：%）					
	指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
	目標値	－	－	－	25.00	30.00	自主事業の積極的実施により利用率の向上に努めており、安定的な施設管理とサービスが提供されている。
	実績値	24.64	17.01	26.65	31.40	33.15	

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

定例会での意見交換や情報共有等、積極的に連絡が取れている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

生涯学習推進事業について、市との共催により積極的に実施している。共催事業以外でも、高齢者対象の講座から乳幼児とその保護者を対象にする講座まで幅広い自主事業を展開している。自主事業の中でも「プラザグループ発表会」は、プラザグループ等との良好な関係のもと実施している。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

貸室稼働率の向上を年度目標に掲げ、前年度に引き続いて自主事業や共催事業を開催し、稼働率が増加した。一方で、利用者満足度は目標値を下回ったが、利用者が安全かつ快適に利用できるよう適正な管理運営に努めた。
施設維持管理については、築年数の経過による修繕箇所の増加に対して、緊急性や重要性の優先順位付けによる予防保全を効率的に取り組む余地があったと考える。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

（成果）来館者と良好なコミュニケーションを通して関係性を築いていること、また、自主事業として人気のある講座を積極的に開催していることから、利用者の継続利用さらには利用率の向上等につながっている。
（課題）選定時の提案内容である、効果的な予防保全及びスタッフの内作による修繕費の低減化、修繕箇所のリスト化による優先順位をつけた修繕の実施については、施設の経年劣化が進んでいることもあり、効率的な取組みが困難な側面もあったことは考慮すべき点である。
（提案）次年度より指定管理者が交代となるため、新指定管理者への業務の引継ぎを確実に実施して欲しい。その際、未実施の修繕等についても具体的な引継ぎの実施に努めて欲しい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設目標の達成に向けて、SNSを活用した貸室の多様な利用方法の紹介や、各種団体への働きかけ等により、新規利用者の確保及び利用率の向上を期待する。また、利用者満足度調査を継続して実施することにより、利用者ニーズを把握しサービス品質の更なる向上に努めてほしい。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立園田東生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　園田地域課
施設住所	尼崎市食満5丁目8-46	竣工	R3.2（築満3年）
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供		
主な事業内容	施設管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)		
指定管理者名	尼崎市文化振興財団・シルバー人材センター共同事業体あまがさきコミュニティパートナーズ	指定期間	自　R3.4.1　至　R6.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

プラザ利用者へのフォローを行い、新規の利用者だけでなく、リピーターの獲得にも取り組む。

実施結果

プラザのホール機能を有効に活用するため、ホール利用者を対象とした舞台装置や音響機器の演出操作についての説明会を複数回開催したほか、仕様等をホームページにも掲載するなど積極的にリピーターの獲得に取り組んだ。自主事業では、指定管理者の文化事業のノウハウにより、ホールを活用した「ふれあいコンサート」や、「手作りおみそ教室」「しめ縄作り」など体験型の事業も実施し、新たな利用者の獲得に取り組んだ結果、利用率や多世代の利用者満足度の向上に繋がった。（指標①②）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：園田東生涯学習プラザ利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	83%	84%			
実績	－	－	－	－	－	82%	80%	93%			
達成度	－	－	－	－	－	－	96%	111%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	◎			

指標②：園田東生涯学習プラザ利用率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	25%	27%			
実績	－	－	－	42%	32%	23%	28%	30%			
達成度	－	－	－	－	－	－	112%	109%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者のニーズや要望に迅速に対応し、利用者が満足感を得られるような接客に努める。

実施結果及び評価

プラザ出入口の階段が夜間暗くて危ないとの指摘を受け、階段部に外灯を増設することで迅速に照度を確保した。またホール利用者より音響等の操作卓への手元灯の設置要望があり、操作卓にスタンドライトを設置することで要望に応えることができた。さらに楽器演奏の際の譜面台貸出の要望を受けて譜面台を5台購入し、貸出しを開始するとともに、その旨をホームページにも掲載するなど市民サービスの向上に努めた。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

資料印刷時は両面コピー、裏面再利用に努める。また、空調に係る経費を削減するため衣服による温度調節を行うとともに、不要な電気の消灯に努めていく。植栽によりプラザの環境整備に努めていく。

実施結果及び評価

資料印刷時は両面コピー、裏面再利用を行った。また、経費節減のため省エネの協力を呼びかけるとともに、館内を見回り、不要な空調や照明を消した。春花や夏花植栽の種類や数量を増やしてプラザの環境整備に努めた。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	25,506,000	25,781,000	275,000	人件費	12,060,000	11,642,453	417,547
実費弁償金	0	4,199	4,199	施設維持管理運営費	10,233,636	11,977,826	-1,744,190
雑収入	0	74	74	その他	3,212,364	1,829,379	1,382,985
収入計	25,506,000	25,785,273	279,273	支出計	25,506,000	25,449,658	56,342

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮させるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているものであるか
指定管理者自身が設定した目標	地域住民と共に、地域課題の解決に向けて協働して取り組み、また、地域課との連絡調整を密にしながら、市民サービス向上と、より効果的・効率的な管理運営を行うとともに市民のニーズを的確にキャッチした魅力ある事業展開を実施することにより、地域に愛されるプラザ、他の地域の模範となる魅力ある施設を目指す。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域に愛されるプラザ、他の地域の模範となる魅力ある施設						
目標指標	指標	利用率の前年度比2pt向上（%）					
	指定期間	R3	R4	R5			達成状況の評価
	目標値	－	24.69%	29.72%			新規利用者やリピーターの獲得に取り組んだ結果目標を達成している。
	実績値	22.69%	27.72%	30.32%			

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

定例会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

指定管理者が市と協力し、子どもたちと一緒に花を植えたり、コミュニティスペースにクリスマスツリーを設置するなど、パートナーシップのもと施設の魅力を高めた。また、コミュニティスペースの利用マナーの周知に努め、ゴミの放置がほとんどなくなるなど利用マナーが向上した。さらに「市民大学」や「園田ステージアートフェス」は指定管理者の協力により、舞台装置や音響設備を活かした効果的な演出を行うことによって大成功を収めた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

指定管理者が持つホールイベントの企画運営及び舞台演出等のノウハウを活かし、多種多様なイベントを開催するとともに、引き続きホール利用者への舞台装置・音響機器等の操作説明会等を定期的に行い、ホール利用の幅を広げて魅力のある事業を展開していきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

施設の魅力を高める取組を実施すること等により利用率が向上しており、指定管理業務は良好に遂行されている。利用率の向上については、園田西生涯学習プラザの工事の影響も考えられるため、引き続き新規利用者の増加に向けた取組を進めるとともに、プラザグループの活性化とグループ間のつながり作りに向けた取組を意識して業務に当たる必要がある。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

指定管理者は積極的に市と協働しながら、ノウハウを活かした魅力ある事業展開を実施する。市と指定管理者が互いにSNSなどで事業の広報をするなど指定管理者に対する認知度や信頼を向上させるための取組を行う。また、今後も報告・連絡・相談を互いに密にすることで、市民サービスの向上を目指す。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立園田西生涯学習プラザ	施設所管課	総合政策局　園田地域課				
施設住所	尼崎市食満2丁目1-1	竣工	H1（築満35年）				
設置目的	教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供						
主な事業内容	施設管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)						
指定管理者名	尼崎市文化振興財団･シルバー人材センター共同事業体あまがさきコミュニティパートナーズ	指定期間	自	R3.4.1	至	R6.3.31	

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者が安心して施設を利用できるよう空調工事を実施し、工事による制限がある中でもプラザ利用者へのフォローに努める。

実施結果

空調改修工事に伴い、10月16日から11月21日まで貸室の利用を停止し、11月22日から12月末は完全休館していた。その間、様々な問い合わせがあったが、丁寧な対応を心がけ、休館中もプラザ外周の掃除や図書返却ポストの設置を行うなどサービスの低下を招かないように努めた結果、利用者満足度は上昇した。一方で、工事実施時期が夏頃まで不透明であったことが利用率に影響したと思われる。（指標①②）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：園田西生涯学習プラザ利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	66%	67%			
実績	－	－	－	－	－	65%	58%	75%			
達成度	－	－	－	－	－	－	87%	112%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

指標②：園田西生涯学習プラザ利用率（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	24%	27%			
実績	－	－	－	33%	20%	22%	25%	23%			
達成度	－	－	－	－	－	－	104%	84%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	△			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者のニーズや要望に迅速に対応し、利用者が満足感を得られるような接遇及び施設管理に努める。

実施結果及び評価

休館に伴う利用者への案内や施設点検の実施時期など多くの調整が必要になったが、柔軟に対応していた。利用者から貸室停止に関する様々な問い合わせあったが、親切丁寧な対応により、トラブルなく運営できたことから、市民サービスは維持できたと考えている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

資料印刷時は両面コピー、裏面再利用に努める。また、空調に係る経費を削減するため衣服による温度調節を行うとともに、不要な電気の消灯に努めていく。

実施結果及び評価

資料印刷時は両面コピー、裏面再利用を行っている。夏場は扇風機及び衣服による温度調節を行い、経費節減に努めた。また、環境意識を持ち、利用者へ省エネの協力を呼びかけるとともに、館内を見回り、不要な空調や照明は消灯している。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	24,047,000	24,452,751	405,751	人件費	11,490,000	11,447,742	42,258
				施設維持管理運営費	9,425,455	11,656,865	−2,231,410
				その他	3,131,545	1,637,042	1,494,503
収入計	24,047,000	24,452,751	405,751	支出計	24,047,000	24,741,649	−694,649

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるか ②プラザの効用を最大限に発揮させるものであるか ③プラザの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④プラザの管理を安定して行う能力を有しているものであるか
指定管理者自身が設定した目標	地域住民と共に、地域課題の解決に向けて協働して取り組み、また、地域課との連絡調整を密にしながら、市民サービス向上と、より効果的･効率的な管理運営を行うと共に市民のニーズを的確にキャッチした魅力ある事業展開を実施することにより、地域に愛されるプラザ、他の地域の模範となる魅力ある施設を目指す。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域に愛されるプラザ、他の地域の模範となる魅力ある施設						
目標指標	指標	利用率の前年度比2pt向上（%）					
	指定期間	R3	R4	R5			達成状況の評価
	目標値	－	24.00	27.03			丁寧な接遇に努めることで、これまで利用率は上昇していたが、令和5年度は休館の影響により目標未達である。
	実績値	22.00	25.03	22.67			

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告･連絡･相談が適切･適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議･共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

定例会を行うほか、適時の報告･連絡･相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

空調工事に伴い休館が発生したが、利用者からの問い合わせや工事業者との連絡など指定管理者の協力のもと問題なく工事を実施できた。園田ステージアートフェス(プラザまつり)では、ステージの舞台演出や撮影を指定管理者が担い、成功を収めた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

昨年度から予定していた空調工事の施工の影響により、利用率、自主事業実施などを含め、令和5年12月までは計画どおりには進まない状態であった。1月には工事が完了し通常営業に戻ったことから、2月に園田ミニ作戦を実施し、利用率回復に努めた。園田体育館との複合施設であり、それぞれの指定管理者の休館開始日などに対する考え方に相違が生じたこともあり、管理運営方法も将来的には検討、見直すべきではないかと考える。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

工事に伴い貸室の利用制限がある中でも、問題なく運営できたことから、年間を通じて指定管理業務は良好に遂行されている。プラザグループの活性化、体育館や図書コーナー利用者が参加しやすい事業の継続的な開催など、利用率の向上に向けた取組を今後も期待する。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

指定管理者はノウハウを活かした魅力ある事業を実施し、市はSNSで広報を行うなど、それぞれの役割分担を決めて事業を実施していく。また、互いの事業予定を事前に共有、協議し、事業内容をより良いものにしていくことで、利用率の向上を目指す。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立園田東会館	施設所管課	総合政策局　園田地域課			
施設住所	尼崎市戸ノ内町3丁目27-1	竣工	S58.3（築満41年）			
設置目的	市民の生活文化の向上を図るための各種の研修、レクレーション及び集会の場の提供					
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと地域に対する市民活動の促進・支援					
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム	指定期間	自	R2.4.1	至	R7.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

地域の方々への設置目的・事業活動の周知、地域課題（買い物支援）やニーズに合った事業の展開で利用率の向上に取り組む。また好感の持てる接遇を心がけ、親しみのある施設を目指す。

実施結果

会館だよりと教室案内を年4回配布し、各種教室・貸室・施設の案内を行い利用者数・利用率が向上している。新たな自主事業の開催や地域課主催のプログラムへの参加、地域課題を踏まえた地域課との共催事業「朝市」を実施し、来館者の幅も広がった。満足度も概ね維持できている。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：施設の利用と自主事業の自主事業内容の満足度（アンケート結果平均点／5点満点）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	86.4%	96.2%	96.2%			
実績	－	－	－	－	84.4%	94.2%	93.6%	92.6%			
達成度	－	－	－	－	－	109.0%	97.3%	96.3%			
評価	－	－	－	－	－	◎	○	○			

指標②：施設の利用率

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	－	8.50%			
実績	－	－	－	－	2.83%	5.12%	7.78%	11.21%			
達成度	－	－	－	－	－	－	－	131.9%			
評価	－	－	－	－	－	－	－	◎			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者の快適な利用空間づくりと省エネルギー等の環境配慮との両立を目指す。

実施結果及び評価

屋内では汚れ、剝がれがあった1F小会議室・2F大会議室の可動間仕切りのクロスを張替え、清潔感が向上した。屋外では南側隣家に越境していた樹木を伐採し、落葉によるトラブルがないよう対処した。　◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

節電や省エネルギー等の環境に配慮した施設管理を行う。

実施結果及び評価

気温計を設置し空調を適時調整することで光熱費を抑制した。猛暑だった夏季は熱中症対策のため、冷水給水器と併せて冷房を積極的に使用することで、クールスポットとしての体制を整えた。光熱費はほぼ前年度並みで推移している。　◎

◎富水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	11,471,000	11,471,000	0	人件費	5,500,000	5,447,851	52,149
				施設維持管理運営費	3,215,155	2,843,458	371,997
				その他	1,347,738	1,322,900	24,838
収入計	11,471,000	11,471,000	0	支出計	10,063,193	9,614,209	448,984

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①市民の平等な利用が確保されるものであるかどうか。 ②会館の効用を最大限に発揮させるものであるか。 ③会館の管理に係る経費の縮減が図られるものであるか。 ④会館の管理を安定して行う能力を有しているものであるか
指定管理者自身が設定した目標	(1)地域住民の交流を促進するコミュニティの基点となる (2)魅力的な自主事業の展開による会館の利用率向上 (3)新たなグループ活動形成の拠点になる

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域活動を通じて地域住民の学びに対する関心を向上させ、日常生活をより豊かなものにする施設						
目標指標	指標	園田東会館における「施設の利便性・自主事業の内容に満足した」と感じる利用者の平均値を前年度比2pt向上(%)　※R5・R6目標値は前年度目標値未達のため据え置き					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値	－	86.40	96.20	96.20	96.20	親切丁寧な接遇に努めているが目標には届かなかった。
	実績値	84	94.20	93.60	92.60		

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の月例会を行い情報共有を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。地域課題の共通認識の結果「朝市」事業の実施に発展した。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

地域課主催のプログラムに加えて、新たな自主事業として「そば打ち教室」(8月・2月)や「読書感想文の書き方」(8月)を立ち上げ、親子や地域外の利用者を増やすことができた。また地域課や地域団体等の協力を得て「朝市」(12月)を開催し、来館者の幅が広がった。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

今年度、地域課題を見極め、買い物支援として地域課と共催で「朝市」を開催し(100人来館)、地域課題の解決に取り組むとともに東会館の認知度を高めるきっかけづくりを行った。また、副館長が講師を務める「そば打ち」講座を自主事業として実施したところ、人気であったため継続して実施している。指定避難所として応急給水栓が設置されたこともあり、防災体験など建物の個性を生かした事業を行うなど、引き続きニーズを見極め利用率アップにつなげていきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

新型コロナウイルス感染症の影響により利用率が低迷状態であったが、魅力ある自主事業を増やすなど、指定管理者の工夫により利用率は年々増加傾向にある。自主グループの新規登録により貸室利用も増えており、事業を通して地元住民とのコミュニケーションをより密にしてニーズを掴み、更なる利用向上を図るような自主事業等の企画を期待する。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

引き続き月1回の定例会は継続し、情報共有を行い現状把握と課題解決に向けて話し合っていく。特に、今年度実施した地域課と共催の「朝市」が好評であったことから、定期的に開催できるよう企画を進めていく。また令和5年度に設置された応急給水栓を活用した防災訓練などを行うなど、施設の認知度を高め、利用率の向上につなげたい。